パワード･スピーカー

EON700 Series

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

2024年1月版

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

■ 必ず本体に記載のある定格電圧の範囲内でご使用ください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因になります。

■ 付属の電源コードは本機専用です。ほかの製品に使用するとコードの破損や火災、感電の原因になります。

■ 使用する電源電圧に応じて適切な電源コードをご使用ください。火災や感電の原因になります。

■ 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。

■ 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。

■ 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。

■ 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

■ 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

■ 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。

■ ポールマウントする場合は、十分な転倒 / 落下防止策を施し、定期的に保守点検を行ってください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。設置場所 / 器具の強度不足や設置方法の不備、経年劣化などが原因で発生した事故に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

⚠ 注意

■ 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。

■ 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。

■ 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。

■ 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所
- 温度の特に高い場所、または低い場所
- 湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動の多い場所
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所

■ 通気性の良い場所に設置してください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■ 機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。

■ 配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。

■ 濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■ 電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。

■ 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■ 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

使用上のご注意

電波に関するご注意

・ 本機と端末との Bluetooth 接続による通信可能な距離は約 20m です。2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、「本機と端末との間に障害物がある場合」「本機や端末を直接地面や床に置いた場合」「雨天時の屋外で使用した場合」「他の電波を発信する機器が使用されている場所で使用した場合」では、通信距離が短くなったり、通信が途切れる可能性があります。上手く動作しない場合は、障害物を取り除くか、使用場所を変更してください。

・ 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - ・本機を分解 / 改造すること。
  - ・本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルをはがすこと。

・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局 (以下「他の無線局」) が運用されています。他の無線局との電波干渉を防止するために、以下の事項に注意してご使用ください。
  1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、運用を停止してください。
  3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、以下の連絡先へお問い合わせください。

ヒビノ株式会社　ヒビノマーケティング Div.

カスタマーサポート　TEL：03-5419-1550

梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

■ 本体　■ 和文取扱説明書

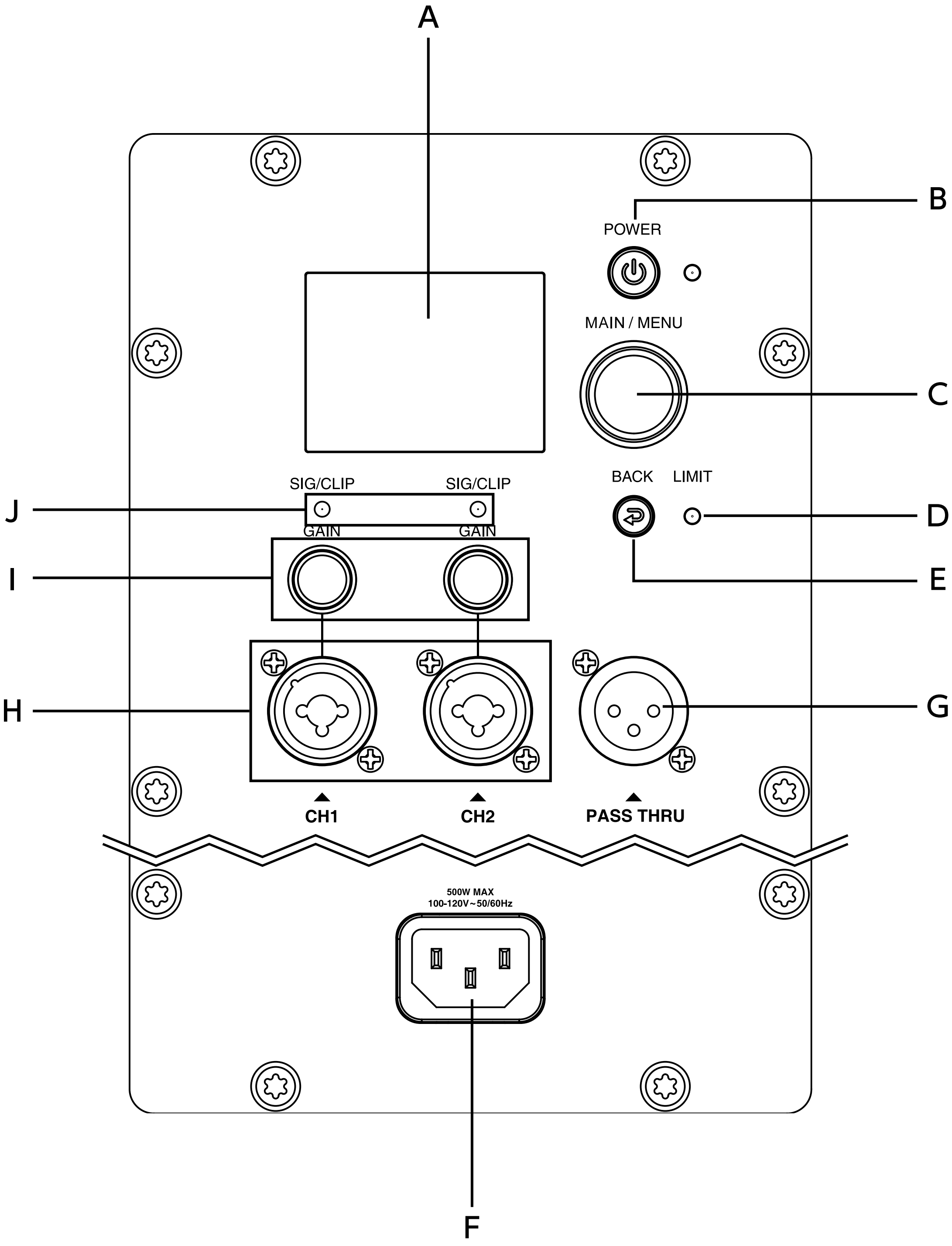
■ 電源コード　■ 保証書

目 次

安全上のご注意 …… 2
使用上のご注意 …… 3
梱包内容の確認 …… 3
目 次 …… 3
各部の名称と機能 …… 4
　EON710、EON712、EON715 (フルレンジ・スピーカー) …… 4
　EON718S (サブウーファー) …… 6
メインメニュー画面の設定項目と選択項目 …… 7
クイックスタートガイド …… 9
　電源 ON と接続 …… 9
　電源の OFF …… 9
　Bluetooth をペアリングする …… 9
　「JBL Pro Connect App」をダウンロードする …… 9
　ファクトリーリセットをする …… 9
仕様 …… 10

各部の名称と機能

EON710、EON712、EON715（フルレンジ・スピーカー）



A. ディスプレイ

様々な情報を表示します。表示内容の詳細は P.7「メインメニュー画面の設定項目と選択項目」をご覧ください。

備考 ・ディスプレイは遅延があるため、動きの速い音量メーター等の表示確認には向いていません。

B. POWER ボタン

電源の ON/OFF を切り替えます。ON の時は右側の LED が緑色に点灯します。

電源を OFF にするには POWER ボタンを長押しします。

C. MAIN/MENU つまみ

ディスプレイを制御したり、信号の最終的な出力レベルを調整します。ディスプレイが「ホーム画面」の場合と「メインメニュー画面」の場合で以下のように動作が異なります。

ホーム画面

つまみを回す : 信号の最終的な出力レベルを調整

つまみを押す : メインメニュー画面を表示

つまみを長押し(2 秒以上) : スピーカー出力をミュート / ミュート解除

メインメニュー画面

つまみを回す : メニューのスクロール

つまみを押す : メニューの決定

D. LIMIT LED

MAIN/MENU つまみ通過後の出力信号レベルを表示する LED です。赤色に点灯した場合は信号が大きすぎるので MAIN/MENU つまみを下げてください。

E. BACK ボタン

ディスプレイの表示を一つ前に戻します。

F. 電源端子

付属の電源コードの接続端子です。

G. PASS THRU 端子

XLR(バランス) のスルー出力端子です。MAIN/MENU つまみ通過後の信号を出力します。他の EON700 Series やパワード·スピーカーなどを接続すればシステムを拡張できます。

備考 ・PASS THRU 端子からの信号はモノラルです。

H. CH1/CH2

XLR(バランス) と標準フォーン (3P バランス) に対応した複合型入力端子です。マイク / ライン · レベルの信号を CH1/CH2 に入力します。

I. GAIN つまみ

各チャンネルの入力ゲインを調整するつまみです。

つまみを回す : 入力ゲインの調整（ディスプレイにメーターが表示されます）

つまみを長押し（2 秒以上） : CH をミュート / ミュート解除

備考 ・マイクを CH1/CH2 に接続する場合は、プリアンプのゲインをマイクレベルに設定してください。設定方法は P.7「メインメニュー画面の設定項目と選択項目」をご覧ください。

J. SIG/CLIP LED

入力信号やミュートの ON/OFF 状態を表示します。以下の様に点灯 / 点滅します。

ミュートが ON の時 : ミュートした CH の LED がゆっくり薄明るい赤色に点滅

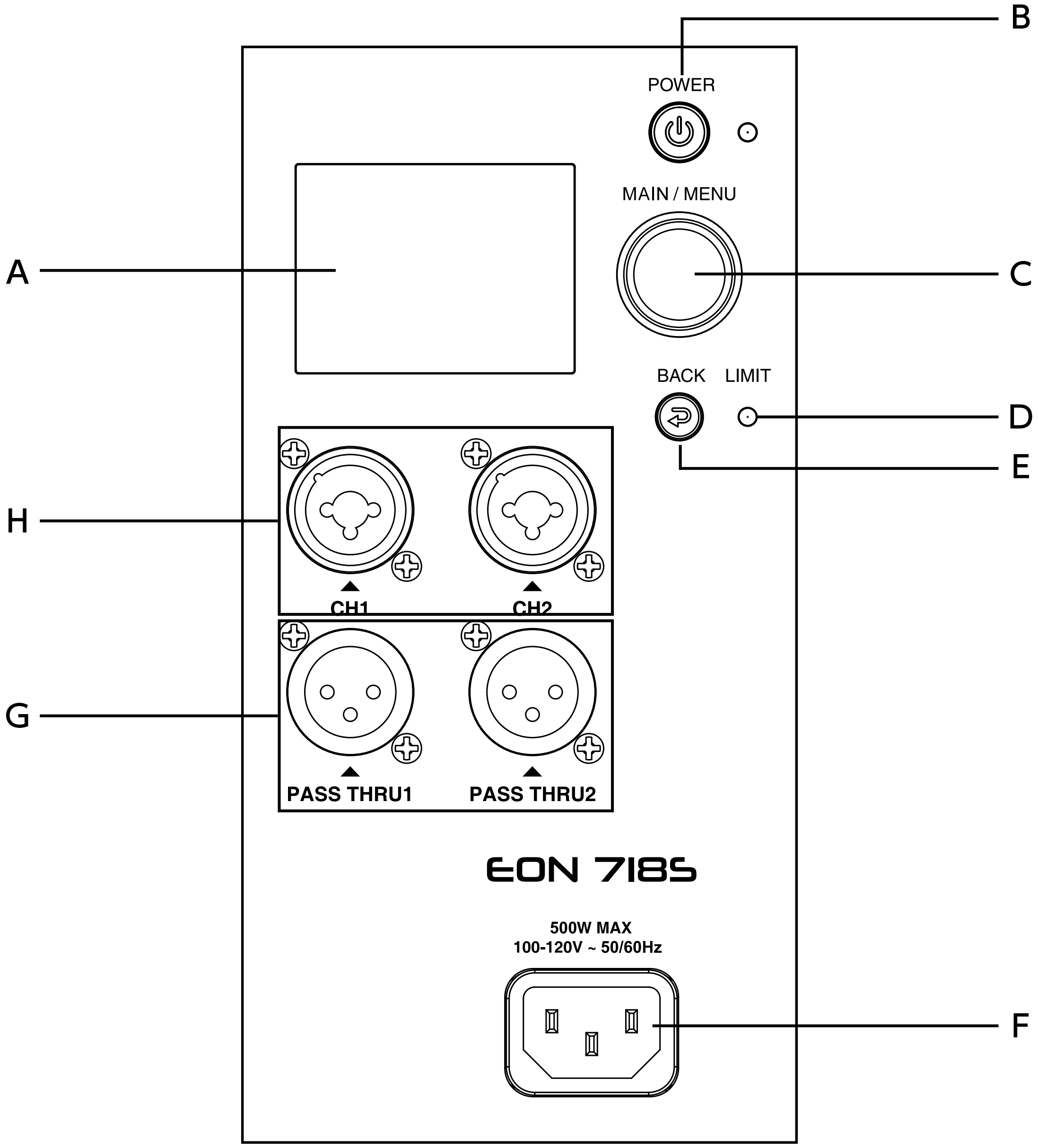
信号が通常の状態 : CH の LED が明るい緑色に点灯

クリップしている時 : 選択 CH の LED が明るい赤色に点灯※

信号がクリップする直前の時 : 選択 CH の LED が明るい黄色に点灯

※ 点灯した場合は信号が大きすぎます。GAIN つまみや接続機器の音量を下げてください。

EON718S (サブウーファー)



A. ～ F.
※フルレンジ・スピーカーの説明をご参照ください。

H. CH1/CH2 端子
XLR(バランス) と標準フォーン (3P バランス) に対応した複合型入力端子です。

G. PASS THRU1/PASS THRU2 端子
XLR(バランス) のスルー出力端子です。CH1/CH2 端子に入力直後の信号を出力します。

メインメニュー画面の設定項目と選択項目

MAIN/MENU つまみを押すとディスプレイにメインメニュー画面が表示されます。各メニューにて、音響設定やシステムの設定を行います。

以下にメニュー項目とそれぞれの選択項目の説明を記載します。

※フルレンジ・スピーカーの表示を基に説明しています。

GAIN : プリアンプのゲイン設定をします。CH1/CH2 にマイクを接続する場合は、ゲインを上げてください。

Ducking by Soundcraft : マイクに信号が入力されると Bluetooth 経由で入力された BGM の音量を自動で下げるダッキングの設定を行います。

- Channel Sensors : ダッキングを動作させる CH（トリガー）を選択
- Channel Sensitivity : 各 CH からダッキングに送る信号の量を設定
- Threshold : ダッキングを起動させる感度を設定
- Range : CH に信号が入力された時、Bluetooth 経由で入力された BGM の音量をどの程度下げるか設定
- Release Time : CH の入力信号がなくなった時、Bluetooth 経由で入力された BGM の音量を元に戻すタイミングを設定

dbx DriveRack Output : 不快なハウリングを自動で抑えるハウリングサプレッサー (AFS) の設定を行います。

- AFS by dbx : AFS の ON/OFF
- Reset Filters : AFS フィルターをリセット

Output EQ : パワーアンプ前段のメイン出力信号に適用するイコライザーの設定を行います。

- Output EQ : イコライザーの ON/OFF
- Presets: プリセットの選択

  EON710/EON712/EON715

  ◇ Flat : フラット
  ◇ Speech : スピーチが主な拡声の場合（低域と高域を減衰させた設定です）
  ◇ DJ : 音楽再生が主な拡声の場合（低域と高域が強調された設定です）
  ◇ Café : スピーチと音楽を同時に拡声する場合（低域と高域を減衰させた設定です）
  ◇ KTV : カラオケ使用の場合（中域を強調した設定です）
  ◇ Monitor : ステージモニターとして使用する場合（低域と中域を減衰させた設定です）
  ◇ On Wall : 壁掛けで使用する場合（低域を減衰させた設定です）

  EON718S

  ◇ Flat : フラット
  ◇ 80hz/100hz/120hz : クロスオーバーポイント 80hz/100hz/120hz
  ◇ Wall : 壁付近にサブウーファーを設置した場合
  ◇ Corner : 部屋のコーナー部分にサブウーファーを設置した場合
  ◇ Cardioid : サブウーファー 2 台を使用してカーディオイドの指向性にする場合（詳細は英文取説の「CARDIOID」を参照してください）

Bass Boost : 低域を 2dB ブーストします。

- Bass Boost : 低域ブーストの ON/OFF

Pass Thru XLR : PASS THRU 出力端子の出力信号の設定を行います。

- Pass Thru : PASS THRU 出力の ON/OFF
- Presets : PASS THRU 出力に接続するスピーカーに合わせて以下のプリセットを選択

  ◇ Full Range : フルレンジ・スピーカーを接続する場合（MAIN/MENU つまみ通過後の信号をそのまま出力します）
  ◇ Sub : 外部のパワーアンプを使用する場合（内蔵のパワーアンプに送る信号に 80Hz 以上のハイパスフィルターを適用し、PASS THRU 出力に送る信号に 80hz 未満のローパスフィルターを適用します）
  ◇ Custom : 専用アプリであらかじめ用意したユーザー設定に基づいた信号を出力
- HPF on this Speaker : 内蔵のパワーアンプに送る信号にハイパスフィルターを適用（プリセットを Sub にした時に使用します）

- **LPF on Pass Thru Out** : PASS THRU 出力にローパスフィルターを適用

Time Align : 本体や PASS THRU 出力のディレイの設定を行います。

- **Delay on Pass Thru Out** : PASS THRU 出力にディレイを設定
- **Delay to this Speaker** : 内蔵のパワーアンプに送る信号にディレイを設定
- **PASS Thru Level** : PASS THRU 端子からの出力レベルを設定

Polarity (※ EON718S のみ) : サブウーファーの極性を選択します。

- **Polarity** : ON（正相）/OFF（逆相）の切り替え

Settings : システム設定を行います。

- **BT Audio Pairing** : 音声用の Bluetooth ペアリング（30 秒間有効）
- **BT Control Pairing** : コントロール用の Bluetooth ペアリング（30 秒間有効）
- **LED Contrast** : ディスプレイのコントラスト調整
- **Firmware Version** : 現在のファームウェアのバージョン
- **Factory Reset** : ファクトリーリセット（工場出荷時に戻します）

クイックスタートガイド

電源 ON と接続

1. 本機とコンセントを付属の電源コードで接続します。
2. 本機の POWER ボタンを ON にして、各 CH の GAIN つまみや MAIN/MENU つまみが最小になっていることを確認してください。
3. 本機の POWER ボタンを OFF にします。
4. マイクロホンや楽器、再生機器などを入力端子に接続します。
5. 入力機器の電源を ON にします。
6. 本機の POWER ボタンを ON にします。
7. 入力機器の出力レベルを、実際に使用する時の状態に設定します。
8. MAIN/MENU つまみをメーターの中央付近まで上げます。
9. 出力音を聴きながら、各 CH の GAIN つまみを希望の音量になるまで上げていきます。

電源の OFF

1. 各 CH の GAIN つまみや MAIN/MENU つまみを最小にします。
2. 入力機器の出力レベルを最小にします。
3. 本機の POWER ボタンを長押しして電源を OFF にします。
4. 入力機器の電源を OFF にします。

Bluetooth をペアリングする

MAIN/MENU つまみを押し、ディスプレイにメインメニュー画面を表示させます。

MAIN/MENU つまみを回してメニューをスクロールし、「Settings」の項目を選択（つまみを押す）します。

Bluetooth で音楽を再生する場合、「BT Audio Pairing」を選択

1. 「BT Audio Pairing」を ON にして、Bluetooth による接続待機状態にします (約 30 秒間)。既に接続が確立している端末がある場合は、その端末で接続を解除してから再度お試しください。
2. 端末の Bluetooth 機能を ON にして、デバイスを検出します。
3. 検出された中から「JBL EON7xx」を選択します。選択すると接続が完了します。

備考 ・サブウーファー EON718S には Bluetooth による音声入力機能はありません。

Bluetooth で「JBL Pro Connect App」からコントロールをする場合、「BT Control Pairing」を選択

1. 「BT Control Pairing」を ON にして、Bluetooth による接続待機状態にします (約 30 秒間)。既に接続が確立している端末がある場合は、その端末で接続を解除してから再度お試しください。
2. 端末の Bluetooth 機能を ON にして、「JBL Pro Connect App」を使用してデバイスを検出します。
3. 検出された中から「JBL EON7xx」を選択します。選択すると接続が完了します。

「JBL Pro Connect App」をダウンロードする

本機は、「JBL Pro Connect」アプリをインストールしたタブレットやスマートフォンなどの端末を Bluetooth で接続することでワイヤレスで操作できます。iOS、Android に対応しています。ダウンロードする端末の OS は最新のものをお使いください。

ファクトリーリセットをする

1. MAIN/MENU つまみを押し、ディスプレイにメインメニュー画面を表示させます。
2. MAIN/MENU つまみを回してメニューをスクロールし、「Settings」の項目を選択（つまみを押す）します。
3. 「Factory Reset」を選択して実行してください。工場出荷時の状態にリセットされます。

仕様

■ EON700 Series　フルレンジ・スピーカー

		EON710	EON712	EON715
形式		2-Way パワード・フルレンジ		
周波数レンジ (− 10dB)		52Hz ～ 20kHz	50Hz ～ 20kHz	45Hz ～ 20kHz
指向角度 (水平×垂直)		110°× 60°	100°× 60°	90°× 60°
最大音圧レベル		125dB SPL	127dB SPL	128dB SPL
ドライバー構成	LF	10 インチ (254mm)	12 インチ (305mm)	15 インチ (381mm)
	HF	1 インチ (25mm)		
クロスオーバー周波数		2kHz	2kHz	1.9kHz
パワーアンプ		1,300W(ピーク)		
入力	チャンネル数	3（2 モノラル +Bluetooth）		
	端子・形式	XLR と標準フォーンジャック (3P) 対応の複合型端子× 2		
	インピーダンス	50k Ω /100k Ω (アンバランス / バランス)		
スルー出力	端子・形式	XLR		
Bluetooth	通信方式	Bluetooth 5.0		
	最長通信距離	見通しの良い状態で約 20 m		
	対応コーデック	SBC		
電源		AC100V、50/60Hz		
消費電力		最大 500W		
エンクロージャー		ポリプロピレン +10%Talc、黒		
寸法 (W × H × D、除突起部)		332 × 584 × 303mm	382 × 669 × 324mm	440 × 714 × 358mm
質量		12kg	15kg	17kg
付属品		電源コード、和文取扱説明書		

■ EON718S　サブウーファー

		EON718S
形式		パワード・サブウーファー
周波数レンジ (− 10dB)		31Hz ～ 150Hz
最大音圧レベル		131dB SPL
ドライバー構成		18 インチ (457mm)
クロスオーバー周波数		80Hz/100Hz/120Hz
パワーアンプ		1,500W
入力	チャンネル数	2
	端子・形式	XLR と標準フォーンジャック (3P) 対応の複合型端子× 2
	インピーダンス	50k Ω /100k Ω (アンバランス / バランス)
スルー出力	端子・形式	XLR × 2
電源		AC100V、50/60Hz
消費電力		最大 500W
エンクロージャー		合板、Duraflex 仕上げ、黒
寸法 (W × H × D、除突起部)		609 × 668 × 638mm
質量		36kg
付属品		電源コード、和文取扱説明書

Memo

PROFESSIONAL

by HARMAN

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

https://www.hibino.co.jp/
E-mail: marketing@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社　ヒビノマーケティング Div.

営業部
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70
TEL: 03-5419-1550　FAX: 03-5419-1565

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712　FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500　FAX: 092-611-5509